

ルート設定について

ルート探索について

ルート探索をする前には、必ず実際の現在地を表示していることを確認してください。

※電池動作で本機を使用する場合は、必ず内蔵電池を満充電にし、内蔵電池の残量に注意しながら操作してください。動作中に内蔵電池の残量がなくなると、大切なデータが壊れる場合があります。

お知らせ

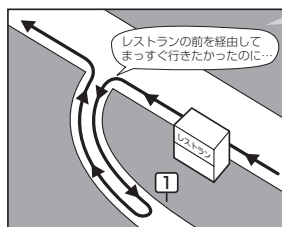
- 出発地と目的地との距離が長いほど、また、1ルート探索より複数ルート探索の方が、ルート探索に時間がかかります。また、出発地と目的地との距離が長すぎて、ルート探索ができない場合は、メッセージが表示され探索を中止します。この場合は出発地と目的地との距離を短くしてください。
- ルート探索は地図ソフトに収められている探索データをもとに行いますが、地図上の全ての地点に探索データがあるわけではありません。出発地／経由地／目的地に登録した地点から、直線距離で一番近い探索データの地点が実際の出発地／経由地／目的地になります。規制などで道路が通れない場合は、意図したルートとは違うルートが設定される場合もあります。
- 地図ソフトの更新により探索データが変更され、出発地／経由地／目的地や探索条件が同じであっても、地図ソフト更新前と更新後でルートが異なる場合があります。
- ルート探索中に本機の電源を切るとルート探索を中断します。

経由地／目的地の設定の注意点

経由地／目的地は必ず最詳細地図で、車線などを確認して設定してください。最詳細地図で設定しなかった場合、意図しない位置に設定してしまう場合があります。

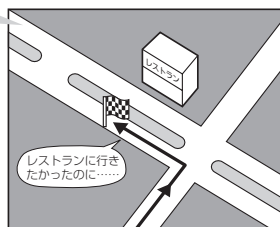
※経由地／目的地は、交差点には設定しないでください。

例)設定したい経由地付近に細街路がある場合



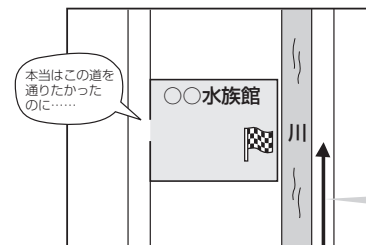
立ち寄りたい地点とは別の道路上に設定され、正しいルートが作れないことがあります。

例)中央分離帯のある一般道路に目的地を設定した場合



目的地と逆の車線に設定されたり、遠まわりのルートを設定することがあります。

例)施設名で“〇〇水族館”を目的地検索した場合



施設(目的地マーク)に一番近い“探索データのある道路”が目的地となりますので、意図しないルートが設定されることがあります。この場合、施設から一番近い「目的地側」の道路に登録してください。

目的地マークに一番近い道路であるため、川の反対側の道路がルート探索の目的地になります。